

第55回 全社技術研究発表会

11月20日、中電ホールにおいて、第55回全社技術研究発表会が行われました。

この発表会は、全社的な技術の向上と事業所・支店・部門間の交流ならびに研究意欲の高揚を図ることを目的とし、毎年開催しています。

発表会の冒頭、川口社長より、「技術開発は、経営課題の解決とお客さまに喜んでいただけるサービスの提供や収益性・採算性の高い事業の発掘など、他社に対する優位性確保のために欠くことのできない有効かつ重要な手段であり、競争を勝ち抜く総合エネルギー企業として発展していくために技術開発への努力は不可欠です。最近では、これまで電気事業で培った経営資源を有効に活用した誇れる成果が生まれつつあり、大変結構なことと喜んでおります。電力会社本来の安定供給に資する技術開発など従来以上の努力を傾注し、更なる成果を挙げるよう、今後も皆さんに大いに期待しています。」との挨拶がありました。

発表は、各部門から推薦された研究成果について、発表者が舞台上で披露するステージ発表と、パネルやサンプル展示により紹介するポスターセッションの2つに分かれて行いました。

来賓には8名の電力技術研究会の先生方をお迎えし、大変活発な質疑から、多くのご指導・ご助言をいただきました。

表彰式では、清水技術開発本部長より「今回、支店から3件の優秀賞が選ばれ、現場に近いところで一生懸命取り組んだ成果であり、これからもすすめていただきたい。また、現在、当社は大変な状況にあるが、苦しい時ほど技術開発に負うところが大きく、会社経営の中でも重要度を増してきており、今後、技術を中心とした形の中で会社改革をすすめていきたい。」との講評をいただきました。

ステージ発表では10件のうち5件、ポスターセッションでは10件のうち4件が優秀賞に選ばれました。受賞者は以下のとおり。



飛驒(電) 松野さん



上田(電) 渡部さん

ステージ発表



ポスターセッションの様子

【ステージ発表の部 優秀賞】

土砂災害予測に基づく送電線保守業務の合理化	岐阜支店 工務部 送電課	山本 卓明
6.6kV SC用VCBの電流遮断現象による異常電圧発生について	長野支店 上田電力センター 発電電技術課 長野支店 上田電力センター 発電電技術課 工務部 発電電G	渡部 達也 塚田 旭 杉本 敏文
情報系システムとリアルタイム処理連係した新配電線自動化システムの開発について	販売本部 配電部 自動化G 販売本部 配電部 自動化G 情報システム部 地図情報システムG	塚腰 浩章 堀田 直孝 飾西 正紀
水力発電所取水口における網場適用による効果と水上人力作業を省略化した吊上式網場装置の開発	岐阜支店 飛驒電力センター 土木課	松野 喜樹 村上 利一
藻場造成をめざした大型藻類の種苗生産技術の開発	エネルギー応用研究所 バイオ技術G	清水 浩視 大西 隆 中西 嘉人

【ポスターセッションの部 優秀賞】

送電鉄塔山地用鋼管杭基礎エアハンマ工法の開発	基幹系統建設センター 技術G 基幹系統建設センター 技術G 工務部 技術開発G	伊藤 沢 河合 博幸 岡田 英幸
原子炉内水中溶接技術の実用化研究	原子力管理部 運営G	綿貫 理研 大野 裕司
配電線用高調波探査器の開発	電力技術研究所 お客さまネットワークG	上田 玄
PCB迅速分析法の開発	エネルギー応用研究所 環境技術G	待井 泰人 熊崎 脩